

キソドリル②「字数」はこう数えよう

ここで覚えて
いてほしいこと

～記号も一字に数える場合～

- 行頭は一文字落とさず、1マス目から書く！
- 記号（、。」「など）も1マス使う！

キソドリル①の解説にある「原稿用紙の使い方の場合」と比較してみてね。

編集

3

「なぜか」と問う問題のときは、文章の中から、理由を述べる文末表現の「～からだ。」の部分に注目しましょう。

2 「字数」はこう数えよう

1 テストで作文を書くときに、「〇〇字前後で書きなさい」という条件があった。どれくらいの字数で書くべきか、次の場合、適切なものに〇、適切でないものに×を（ ）に入力しよう。

- ① (×) 「だいきさん」そんなに書けないから、百字程度でかまわないよ。」
- ② (×) 「こうじさん」多に越したことはないから、三百字書いていいよ。」
- ③ (○) 「まささん」二百字のプラスマイナス一割以内がいいよ。」

ポイント

字数の条件がある場合の目安を覚えておこう。
○「〇〇字以内で書きなさい」……〇〇字×0.8から〇〇字まで
例「百字以内」……八十字～百字
○「〇〇字前後で書きなさい」……〇〇字×0.9から〇〇字×1.1まで
例「百字前後」……九十字～百十字

例えば問題で「百五十字以上二百字以内で書きなさい」と指示のある場合は、その範囲で書こう。



2 テストで「田中さんが呼んでいる。」を「1マスめから書く」とし、AとBの場合を区別して書く。

A「原稿用紙の使い方で書きなさい」の場合

B「記号も一字に数える」の場合

テストで出題される読解問題はどちらが多い。

3 お米を研ぎ過ぎるのがよくないのはなぜか、次の文章から理由を三十字以内で書きなさい。(2 Bパターンで書くこと)
お米を研ぐときのコツは、研ぎ過ぎないことである。お米の表面を覆う旨みを取り除いてしまうと旨みがあるからだ。何度も水を替えてお米を研ぐと、水とともにそれを流してしまうことになる。

(あるからだ、也可)

ここで覚えて
いてほしいこと

問題文の字数の条件を必ず守ろう。
字数が足りないor多すぎて減点…はもったいない！

1 「～字程度で書きなさい」の場合は「前後」のパターンと同様です。

例：80字程度…72字 (80字×0.9) ～88字 (80字×1.1) が目安

2 読解問題では、「記号も一字に数える」場合が多いです。

課題作文（条件作文）を書くときは、「原稿用紙の使い方」、「記号も一字に数える」の、2つの書き方のパターンがあります。
(※都道府県によって異なります。)
問題文の条件を確認する習慣をつけましょう。